

解 答 速 報



埼玉医科大学 一般選抜後期

生物

1

- 1 : ⑤ 2 : ③ 3 : ① 4 : ④
5 : ③ 6 : ④ 7 : ⑤⑦ 8 : ③

2

- 9 : ⑥ 10 : ③ 11 : ① 12 : ⑦ 13 : ⑤
14 : ② 15 : ⑤ 16 : ④ 17 : ② 18 : ① 19 : ⑥

3

- 20 : ③⑤ 21 : ⑨ 22 : ④

4

- 23 : ① 24 : ① 25 : ④ 26 : ⑤
27 : ⑤ 28 : ④ 29 : ⑤

～講評～

大問1・大問2は、それぞれ配偶子形成と電子伝達系をテーマとした出題であった。どちらも考察に用いるロジックはシンプルで、問題文や選択肢を丁寧に読み、正しく情報を整頓できていれば、正解にたどり着くのは難しくなかった。慌てて必要な情報を読み飛ばすことさえなければ、しっかりと点数を取りきれただろう。

大問3・大問4は、それぞれ進化・系統と細胞分裂および物質生産をテーマとした出題であった。問題数こそ多くないが、一部に言葉の定義や考察に用いる情報が明確にされていない問題が含まれており、それらをどう解釈するかで時間をかけてしまった受験生も少なくなかっただろう。選択問題なので、深く考えすぎずにつじつまが合うものを選ぶことが最善策であったと考えられるが、試験時間中に割り切って決断することは難しかったかもしれない。

標準レベルの知識問題と考察問題が中心であった。考察問題の割合が高かったが、問題数は控えめだったので、じっくりと考えて答えることは可能だったと思われる。受験生によっては初めて見るデータを用いた考察問題もあったかもしれないが、典型的な考察問題で演習を重ねていればその応用で対応できたはずである。得点目標は7割5分～8割。



メルマガ登録（無料）またはLINE公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



<p>渋谷校</p> <p>☎ 0120-142-760 東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p>名古屋校</p> <p>☎ 0120-148-959 名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p>大阪校</p> <p>☎ 0120-142-767 大阪府吹田市広芝町 4-3 4 江坂第1ビル 3F</p>
<p>個別専門館 麹町校</p> <p>TEL : 050-1809-4751 東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p>ビッグバン京都校</p> <p>TEL : 075-746-4985 京都市下京区下諏訪町 360</p>	<p>医特塾 阿佐谷本校</p> <p>TEL : 03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p>